

## 『非観血的動脈硬化評価法－その種類と臨床的意義－』

本講演では、様々な非観血的な動脈硬化評価法の中で、最近注目の血管内皮機能検査（FMD）を中心に、従来の頸動脈IMTやstiffness parameterなどと比較しその臨床的意義について解説する。

## 『糖尿病と血管内皮機能の臨床応用』

糖尿病の心血管イベント発症予防効果はLegacy effectに代表されるように早期からの介入が必要である。心血管イベント発症危険度が高い患者を抽出する方法として血管内皮機能評価にお有効性を報告する。



第53回日本糖尿病学会年次学術集会  
モーニングセミナー 4

UNEX  
corporation  
www.unex.co.jp

## 血管内皮機能検査を診療に活かす

■日時：2010年5月29日（土）7:30～8:20

■会場：岡山全日空ホテル 19階 スカイバンケット  
第10会場

座長

**東 幸仁** 先生

広島大学大学院 心臓血管生理医学

演題1

非観血的動脈硬化評価法  
－その種類と臨床的意義－

演者 **絵本 正憲** 先生

大阪市立大学大学院 代謝内分泌病態内科学

本講演では、様々な非観血的な動脈硬化評価法の中で、最近注目の血管内皮機能検査（FMD）を中心に、従来の頸動脈 IMTや stiffness parameter などと比較しその臨床的意義について概説する。

演題2

## 糖尿病と血管内皮機能の臨床応用

演者 **渡邊 健太郎** 先生

日本医科大学 老年内科

糖尿病の心血管イベント発症予防効果は Legacy effectに代表されるように早期からの介入が必要である。心血管イベント発症危険度が高い患者を抽出する方法として血管内皮機能評価の有用性を報告する。

共催：第53回日本糖尿病学会年次学術集会  
株式会社ユネクス